

## 所得格差

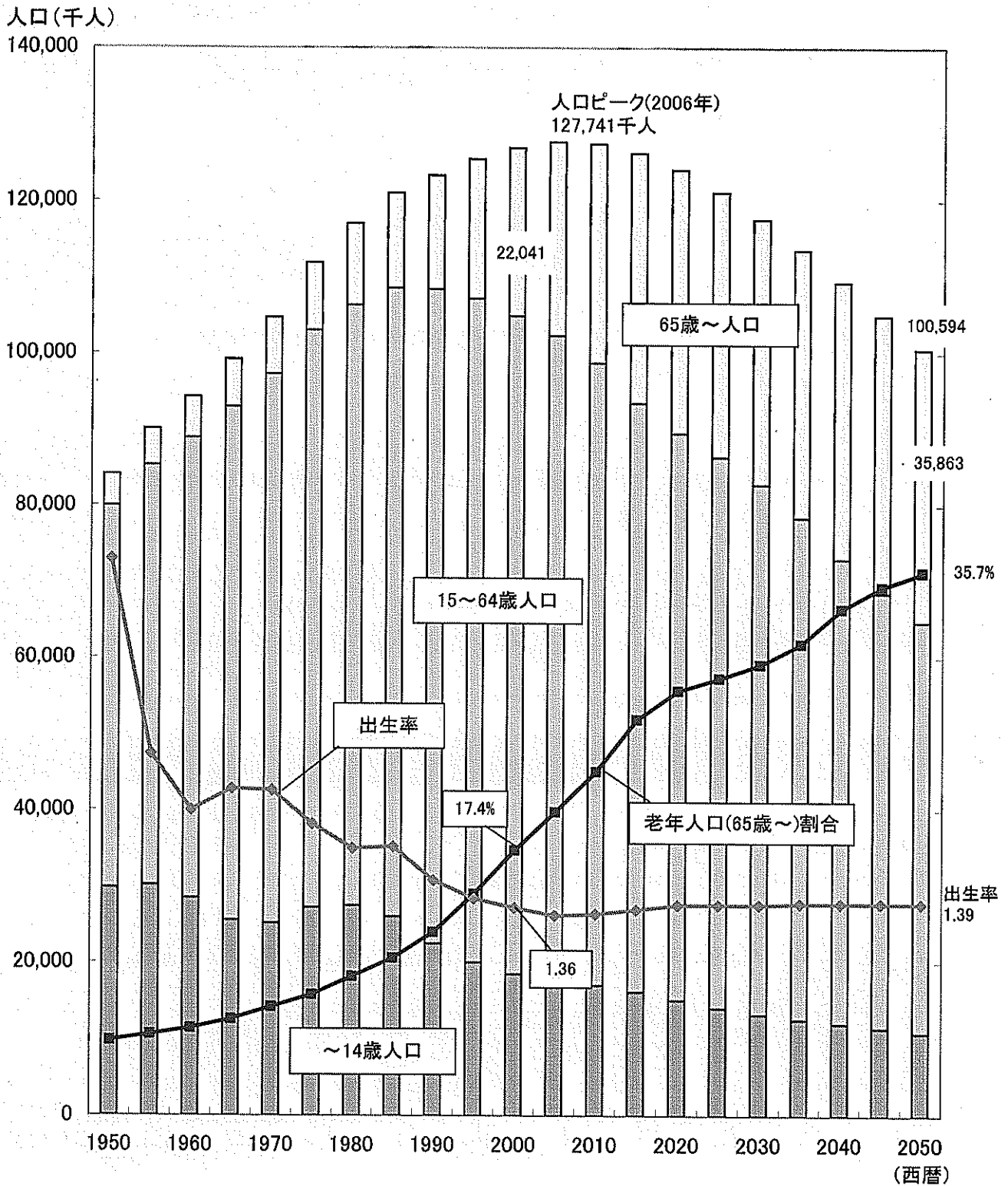
ジニ係数とは、所得などの分布の均等度を示す指標である。0から1までの値をとり、0に近いほど分布が均等であり、1に近いほど不均等ということになる。所得についていえば、0に近いほど所得格差が小さく、1に近いほど所得格差が大きいうことになる。

	当初所得	再分配所得		税による再分配所得		社会保障による再分配所得	
	ジニ係数	ジニ係数	改善度	ジニ係数	改善度	ジニ係数	改善度
1981 (昭和56) 年	0.3491	0.3143	10.0%	0.3301	5.4%	0.3317	5.0%
1984 (昭和59) 年	0.3975	0.3426	13.8%	0.3824	3.8%	0.3584	9.8%
1987 (昭和62) 年	0.4049	0.3382	16.5%	0.3879	4.2%	0.3564	12.0%
1990 (平成2) 年	0.4334	0.3643	15.9%	0.4207	2.9%	0.3791	12.5%
1993 (平成5) 年	0.4394	0.3645	17.0%	0.4255	3.2%	0.3812	13.2%
1996 (平成8) 年	0.4412	0.3606	18.3%	0.4338	1.7%	0.3721	15.7%

資料：厚生省大臣官房政策課調査室「平成8年所得再分配調査」

- (注) 1. 当初所得＝雇業者所得＋事業所得＋農耕所得＋財産所得＋家内労働所得＋雑収入  
 ＋私的給付（仕送り、企業年金、退職金、生命保険金額）
2. 再分配所得＝当初所得－税－社会保険料＋社会保障給付金＋医療費
3. 税による所得再分配＝当初所得－税
4. 社会保障による所得再分配＝当初所得－社会保険料＋社会保障給付金＋医療費
5. 改善度（％）＝（当初所得のジニ係数－再分配所得のジニ係数）／当初所得のジニ係数×100
6. 税金：直接税のうち所得税、個人住民税、固定資産税（事業用のものを除く）及び自動車税・軽自動車税（事業用のものを除く）。
7. 社会保険料：被用者保険、国民健康保険及び国民年金（拠出制）の各制度の保険料。
8. 社会保障給付金：各社会保障制度からの年金やその他現金の形態で行われる給付。
9. 医療費：現物給付される医療を金額換算したもの

## 我が国の人口の推移



出典:2000年までは総務省統計局「国勢調査」、2005年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)中位推計」

## 社会保障制度における高齢者関係給付と児童・家庭関係給付の現状

平成 11 年度現在、社会保障給付費に占める高齢者関係給付費の割合は約 67%、児童・家族関係給付費は約 3%となっている。

【平成 11 (1999) 年度】

	額 (億円)	社会保障給付費に 占める割合 (%)	国民所得 比 (%)	人口比率 (平成 11 年)
社会保障給付費	750,417	—	19.6	—
高齢者関係	503,559	67.1	13.1	*1) 16.7%
児童・家族関係	24,972	3.3	0.7	*2) 14.8%

\*1) 高齢化率：65歳以上人口比率

\*2) 年少人口比率：0～14歳人口比率

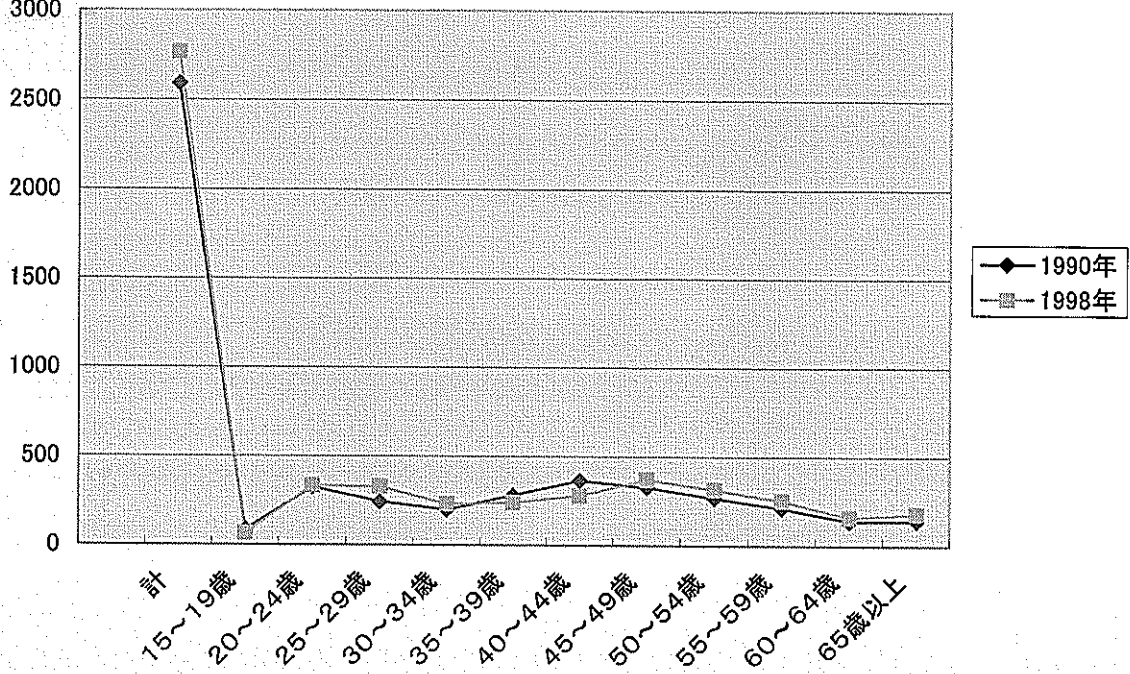
(注)

- ・ 「平成 11 年度社会保障給付費」(国立社会保障・人口問題研究所)より引用。
- ・ 高齢者関係給付費：年金保険給付費、老人保健(医療分)給付費、老人福祉サービス給付費、高年齢雇用継続給付費
- ・ 児童・家族関係給付費：児童手当、児童扶養手当等、児童福祉サービス、育児休業給付、出産関係費

# 女性及び高齢者の就業

女性

万人



男性

万人

